

古くて新しい鉄へのこだわり

鋼板・帯鋼の専門店
日本磨帯鋼株式会社

2012 年度 環境活動レポート

(2012年 4月～2013年 3月)



ホームページアドレス：<http://www.migakiobikou.co.jp/>

メールアドレス：sugimoto@migakiobikou.co.jp

作成日：2013年5月23日

更新日：2013年8月21日

□ごあいさつ

温暖化等の地球環境の悪化を防止するために一企業としてどう取り組んでいくのか！明確な環境方針のもと、全社一丸となって無駄な資源やエネルギーの消費を抑え、ゴミの排出を減らすことに最善を尽くします。またエコアクション21を通して今後も更なる環境活動を行なっていく予定です。

日本磨帯鋼株式会社
代表取締役 杉本幸久

環境方針

<環境理念>

私たちは、ますます深刻化する地球環境悪化を防ぐために、企業の活動(鋼材販売活動)において、必要以上のエネルギーの消費をなくし、省エネ、節水活動、廃棄物の少量化に取り組めます。又、地球環境にやさしい商品の取り扱いを増やすことによって環境負荷の低減を図り、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組めます。

<環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ①二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)
 - ・電力(工場、事務所)
 - ・自動車燃料(営業車)
- ②廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)
 - ・一般廃棄物(可燃ごみ)
- ③排水量の削減(水資源の保全)
 - ・一般水道水
- ④磨帯鋼の環境用途の提案(製品・サービスへの環境配慮)
 - ・振動騒音防止材(隙間ゲージ)などへの利用
 - ・環境教育への利用
 - ・ネット販売でのPR
- ⑤エコ商品の購入(グリーン購入)

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2008年10月1日

改定日：2012年5月11日

代表取締役 杉本幸久

□登録事業所の概要

- (1) 事業所名及び代表者名
日本磨帯鋼株式会社
代表取締役 杉本幸久
- (2) 所在地
本社: 大阪市東成区神路4丁目10番22号
(全社認証取得範囲)
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 杉本幸久 TEL: 06-6971-5531
- (4) 事業内容 (認証・登録の範囲)
鋼板・帯鋼の加工販売
- (5) 事業の規模
製品出荷額 2.14億円
主要製品生産量 1200トン
- | | |
|-------|-------------------|
| | 本社 |
| 従業員 | 7名 |
| 延べ床面積 | 168m ² |
- (6) 事業年度 4月～3月

□主な環境負荷の実績

| 項目 | 単位 | 2010年 | 2011年 | 2012年 |
|---------------------------|-----------------------|--------|--------|-------|
| 二酸化炭素排出量 (対象: エネルギー総量) | kg-CO ₂ /年 | 10,709 | 10,491 | 9,634 |
| 一般廃棄物排出量 | t/年 | 0.85 | 1.06 | 0.85 |
| 総排水量 | m ³ /年 | 132 | 130 | 124 |

(注) 産業廃棄物は発生していない。

□環境目標及びその実績

| 項目 | 年度 | 基準値 (基準年度) | 2012年 | | 2013年 | 2014年 |
|----------------------|--------------------|----------------|---------------------|---------------|---------------|---------------|
| | | | (目標) 基準年度比 | (実績) 基準年度比 | (目標) 基準年度比 | (目標) 基準年度比 |
| 電力の 二酸化炭素排出量削減 | kg-CO ₂ | 6,197 2010年 | 6,073 98% | 6,122 99% | 6,073 98% | 6,011 97% |
| 自動車燃料の 二酸化炭素排出量削減 | kg-CO ₂ | 4,005 2009年 | 3,805 98% | 3,480 87% | 3,404 85% | 3,404 85% |
| 二酸化炭素排出量合計 | kg-CO ₂ | 10,202 | 9,878 | 9,603 | 9,477 | 9,415 |
| 一般廃棄物の削減 | kg | 1,060 2011年 | 1,007 95% | 849 80% | 848 80% | 848 80% |
| 産業廃棄物の削減 | kg | 該当なし | - | - | - | - |
| 水道水の削減 | m ³ | 187 2007年 | 131 70% | 124 66% | 131 70% | 131 70% |
| エコ製品の購入 | | 活動目標 | 文具などのエコ商品の購入 | | 活動目標のみ | |
| 磨帯鋼の環境への貢献 | kg | 活動目標 | ホームページでのPR、帯鋼の用途の拡大 | | | |

- ・二酸化炭素削減目標には都市ガスは含まず
- ・電力のCO₂換算係数は0.378を使用
- ・化学物質は使用していません。(シンナービン500ml1本/年程度)

□環境活動の取り組み計画と評価

4月～3月までの目標とその実績について、その評価を行った

| 取り組み計画 | 活動達成状況 | | 次年度計画 | 評価（結果と今後の方向） |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 評価 | 備考 | | |
| 電力の削減 | 数値目標 | 未達成 | | |
| 省エネ目標説明 | ○ | | 継続 | 加工設備の空転防止達成。不要照明の消灯徹底。冷房温度の適正化は徹底できなかった。冬場の電気ストーブの使用が増えた。 今後も冷房27℃～28℃設定にチャレンジする。また、暖房20℃に挑戦、電気ストーブの使用頻度を減らす |
| 節電運動展開 | △ | | 継続 | |
| 不要照明の消灯 | ○ | | 継続 | |
| クールビズ運動 | ○ | | 継続 | |
| 設備の空運転防止 | ○ | | 継続 | |
| 工程ロス削減による稼働時間短縮 | ○ | | 継続 | |
| 冷房28℃ 暖房20℃ | △ | | | |
| 自動車燃料の削減 | 数値目標 | 達成 | | |
| 自動車燃費向上目標の説明 | ○ | | 継続 | エコドライブについては定着。多品種小ロットの配達が増えたため車の使用度は増えたが、ハイブリッド車に変えたのでガソリン消費量は減った。 移動にできるだけ徒歩と電車を利用する。車の燃費の管理をする。8月ハイブリッド車購入、燃費効率飛躍的に良くなる。 |
| アイドリングストップ | ○ | | 継続 | |
| エコドライブ | ○ | | 継続 | |
| 冷暖房の控え目使用 | ○ | | 継続 | |
| 燃費のよい車の購入（8月更新） | ○ | | 継続 | |
| 一般廃棄物の削減 | 数値目標 | 達成 | | |
| 一般廃棄物削減目標説明 | ○ | | 継続 | 古包装紙再使用や分別回収によってゴミの削減をした 過剰包装などによる社内外のゴミを増やさない取り組みを、周知徹底させる。 |
| 裏紙使用 | ○ | | 継続 | |
| ミスコピーの防止 | ○ | | 継続 | |
| 分別による古紙のリサイクル化 | ○ | | 継続 | |
| 帳票見直しによる印刷物の削減 | ○ | | 継続 | |
| 両面印刷用プリンタ使用 | ○ | | 継続 | |
| マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動の推進 | ○ | | 継続 | |
| 産業廃棄物の削減 | | | | 現在は発生していない。 |
| 水道水の削減 | 数値目標 | 達成 | | |
| 節水トイレの設置 | ○ | | 継続 | 節水にも限界はあるが、活動は継続する。目標は70%を維持することを考える。 |
| 節水呼びかけ | ○ | | 継続 | |
| 水の出しっぱなしの禁止 | ○ | | 継続 | |
| エコ製品の購入 | | | | |
| 文房具などの購入 | ○ | | 継続 | エコ製品の使用を継続。同時にムダ使用を排除するよう指示 |
| 数値収集の準備 | ○ | | 継続 | |
| 磨帯鋼の環境への貢献 | | | | |
| 隙間ゲージ（振動騒音防止） | ○ | | 継続 | からくり人形、ロボットなど異なる用途の依頼があった。これらを拡販のPR材料につなげていきたい。 ホームページの改善により帯鋼の使用用途のPRと啓発ができるように見やすくわかりやすい表現を工夫する。 |
| 実験資材（環境教育） | ○ | | 継続 | |
| 磨帯鋼の環境用途調査 | ○ | | 継続 | |
| ホームページの改善 | ○ | | 継続 | |
| 代表者の見直し | | | | |
| 2012年度は近年増加傾向にあったCO2の削減をすることができた。その要因は車をハイブリッド車に変えたことにもよるが社員全員のエコ意識が高まってきたことによる。今後もCO2の削減、廃棄物・水道水使用の削減に取り組んでいきたい | | | | |

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

| 適用される法規制 | 適用される事項（施設・物質・事業活動等） |
|-----------|----------------------|
| 廃棄物処理法 | 一般廃棄物 |
| 騒音・振動規制法 | シャーリング機 |
| フロン回収・破壊法 | 業務用空調機 |

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

グラフで見るCO₂・廃棄物・水道水の削減(増加)状況

